

2024 年度「海外語学実習(ドイツ語)」 参加レポート

音楽学部 音楽芸術学科 3年

今回の海外短期研修には2つの目的があり参加しました。1つ目は大学で学んだドイツ語がどのくらい定着していて、スムーズに話することができるのかということ。2つ目はドイツという国がどのような場所なのかを実際に知ることです。

結論から言うと、私は少しドイツ語を話そうと思いましたが、現地ではなかなか通じないことも多く、またスピードや少しの訛りについていけないことが多かったです。当たり前ですが、語学学校の授業ではドイツ語と英語しか通用しません。また、授業では会話を多くすることや長文を書くことが多くあり、最初はなかなかついていけず泣いてしまったこともありました。けれど、必死に予習や復習を行なったことにより、最後は授業を楽しく終わることができました。

次にドイツという国を知ることについては、良いところもありましたが、日本とは異なる点もたくさん見えた1ヶ月だったと感じます。

まず、レストランに行ってドイツ料理を注文したら必ずポテトが付いてくることに驚きました。ドイツといえばポテトやじゃがいものイメージでしたが、こんなにどこのお店でもじゃがいもが出てくるとは想像していなかったため、大変驚きました。

次に驚いた点はドイツでは Bio の商品が多いということです。スーパーやドラッグストアなどに低価格で置かれていることに驚きました。また Nutri Sucore もたくさんの商品に表示されていたため、日本よりも健康への意識の高さがとても感じられました。

まだまだ他にもドイツにはたくさん良いところがありますが、一方で日本とは異なる点もありました。それを一番に感じたのは列車の遅延です。路面電車や地下鉄はあまり遅延がなかったように感じましたが、RE や RB、IC、ICE などの列車は遅延していない方が珍しいほどです。今回、列車を使用する機会がたくさんありましたが、私たちの最寄りであるデュッセルドルフ HBF もたくさんの遅延や走る予定の電車が走らなかったり、乗車する番線が変わったりなど様々なトラブルがありました。そのため、ドイツでは余裕を持った予定を立てることが重要だと感じました。

今回の短期研修は、ほかにも搭乗予定のフライトが遅延したり、欠航になってしまったり、過去に見ないハプニングの連続でした。ただ、それも楽しくて良い思い出となりました。

最後にこの研修を通して、ドイツ語を学ぶモチベーションがさらに上がり、文法はもちろんコミュニケーションに重きを置いて勉強していけたらと思いました。そして、また絶対にドイツを訪れると決めました。



以上